

平成18年3月23日
筑波大学

当面の行事予定

大学主催

- 「素粒子の世界を拓くー湯川秀樹・朝永振一郎生誕百年記念ー」展示会プレス内覧会・開会式について

- ・ 1949年に日本人で初めてノーベル賞を受賞した湯川秀樹博士と、1965年にノーベル物理学賞を受賞した朝永振一郎博士の生誕百年を記念して、3月26日(日)から5月7日(日)まで開催される「素粒子の世界を拓くー湯川秀樹・朝永振一郎生誕百年記念ー」展示会の一般公開に先立ち、プレス内覧会等を催行いたします。(別途連絡済)

日時：平成18年3月25日(土) 15:00~17:30

場所：国立科学博物館（東京都台東区上野公園7-20）

問合せ先：総務・企画部広報課

電話：853-2040

- 第2回「計算科学による新たな知の発見・統合・創出」シンポジウム

「計算科学の戦略と次世代スーパーコンピュータ」

- ・ 本学計算科学研究センターでは、来年度より次期フラグシップ・スーパーコンピュータを目指し、文部科学省による「最先端・高性能汎用スーパーコンピュータの開発利用」、いわゆる京速コンピュータ・プロジェクトが開始されます。次世代のスーパーコンピュータは数十ペタフロップスにも達する計算性能が期待されており、科学技術上の明確なブレイクスルーを達成するためには計算科学の各分野のアプリケーション・アルゴリズムおよび計算機システムの検討とそれをどのように実現するかについての「戦略」を考える必要があると考えます。様々な科学技術分野において最先端の研究と開発に不可欠な研究基盤であるスーパーコンピュータにより科学技術の将来を切り拓くべく、次世代の計算科学の戦略、方向について議論・提言を行うシンポジウムを行います。

日時：(1日目)平成18年4月4日(火) 10:00~18:00

(2日目)平成18年4月5日(水) 9:30~17:00

場所：つくば国際会議場（エポカルつくば）

参加登録：シンポジウムホームページよりお願いします。

<http://www.ccs.tsukuba.ac.jp/workshop/sympo-060404/>

問合せ先：計算科学研究センター

電話：853-6486

○ 平成17年度筑波大学卒業式

・卒業予定者数 (学群) 2,128名, (理療科教員養成施設) 21名

日時: 3月24日(金) 10:00~11:05

場所: 筑波大学講堂

問合せ先: 学務部学務課

電話: 853-2204

○ 平成17年度筑波大学大学院学位記授与式

・修了予定者数 1,350名

日時: 3月24日(金) 13:20~15:05

場所: 筑波大学講堂

問合せ先: 学務部大学院課

電話: 853-2236

○ 平成18年度筑波大学入学式

日時: 4月7日(金) 10:00~10:30

場所: 筑波大学講堂

問合せ先: 学務部学務課

電話: 853-2204

○ 平成18年度筑波大学大学院入学式

日時: 4月7日(金) 14:15~14:45

場所: 筑波大学講堂

問合せ先: 学務部大学院課

電話: 853-2236

湯川 秀樹

生誕百年記念

朝永 振一郎

素粒子の世界を拓く

Hideki Yukawa

Sin-itiro Tomonaga



2006年 3月26日[日] ~ 5月7日[日]



国立科学博物館 [東京・上野公園]

- 開催場所: 国立科学博物館 みどり館地下1階展示室 ■開館時間: 午前9時~午後5時 全曜日は午後8時まで (入館は閉館時間の30分前まで)
- 休館日: 毎週月曜日 ※3月27日、4月3日、5月1日は開館
- 入館料: 一般・大学生: 500円 (団体 300円)、小・中・高校生: 無料 ※団体は20名以上、常設展示料金のみでご覧いただけます。

[主催] 国立科学博物館、京都大学、筑波大学、大阪大学

太平洋戦争敗戦後4年目の1949年、日本人は物理学者の湯川秀樹博士がノーベル賞を受賞するというニュースに驚き、よろこびにわきました。水泳の世界選手権大会で日本人が優勝したというニュースとともに、戦後の生活困窮と精神的な落胆で打ちひしがれていた国民に大きな希望と勇気を与えました。湯川博士が1935年に発表した中間子論が1947年に実験で検証されてノーベル賞受賞となったのです。湯川博士とともに京都大学で量子力学という新しい物理学を勉強した朝永振一郎博士は戦中戦後の混乱期の中で場の量子論の難問に挑戦して1948年に「くりこみ理論」を発表しました。この業績によって朝永博士も1965年度のノーベル物理学賞を受賞しました。両博士の生誕百年に当たり、物理学の研究と日本の科学の発展につくされた業績をひろく皆さんに知って頂くためにこの展示会を企画しました。両博士の足跡と切り拓かれた世界をご覧ください。

日露戦争終結 1905
1906.3.31 朝永 誕生
1907.1.23 湯川 誕生
1914-18 第一次世界大戦
1914-18 アインシュタイン来日
1922.11 第三高等学校入学
1923 京都大学理学部入学
1923.9 湯川 結婚
1926 湯川 中間子論
1932 朝永 結婚
1935 湯川 文化勲章受章
1939 朝永 文化勲章受章
1940 湯川 超多時間理論
1943 湯川 超多時間理論
1943 朝永 超多時間理論
1945 湯川 学術雑誌 Progress of Theoretical Physics 創刊
1946 朝永 くりこみ理論
1948 湯川 ノーベル賞受賞
1949 朝永 ノーベル賞受賞
1952 湯川 京都大学基礎物理学研究所所長
1953 東京と京都で「国際理論物理学会」開催
1954 湯川 ラッセル・アインシュタイン宣言に共同署名
1955 第一回バグウォッシュ会議に出席
1956-62 朝永 東京教育大学学長
1960 第一回科学者京都会議
1962 朝永 日本学術会議会長
1963-69 朝永 ノーベル賞受賞
1965 湯川 素領域理論
1966 湯川 ノーベル賞受賞
1968-69 バグウォッシュ・シンポジウムを京都で開催
1975 朝永 逝去
1979.7.8 湯川 逝去
1981.9.8 ユネスコが湯川メダルを製作
2005

欧州で第二次世界大戦勃発
ビキニ環礁水爆実験で福竜丸被爆
安部改定反対運動
大学紛争
世界物理年

日露戦争終結
第一次世界大戦
アインシュタイン来日
関東大震災
欧州で第二次世界大戦勃発
広島、長崎に原子爆弾、第二次大戦終結

$$\left\{ \Delta - \frac{1}{c^2} \frac{\partial^2}{\partial t^2} - \lambda^2 \right\} \psi = 0,$$

湯川の中間子場の方程式

$V(r) = \frac{1}{r}$
 $V(r) = V_1 + V_2$
 $r \rightarrow \alpha \lambda^{-1}$

湯川 誕生
湯川 誕生
第三高等学校入学
京都大学理学部入学
湯川 結婚
湯川 中間子論
朝永 結婚
湯川 文化勲章受章
朝永 超多時間理論
湯川 学術雑誌 Progress of Theoretical Physics 創刊
朝永 くりこみ理論
湯川 ノーベル賞受賞
朝永 ノーベル賞受賞
湯川 京都大学基礎物理学研究所所長
東京と京都で「国際理論物理学会」開催
湯川 ラッセル・アインシュタイン宣言に共同署名
第一回バグウォッシュ会議に出席
朝永 東京教育大学学長
第一回科学者京都会議
朝永 日本学術会議会長
朝永 ノーベル賞受賞
湯川 素領域理論
バグウォッシュ・シンポジウムを京都で開催
朝永 逝去
湯川 逝去
ユネスコが湯川メダルを製作

朝永の超多時間理論

$$i\hbar \frac{\delta \Psi[C]}{\delta C_p} = H(P)\Psi[C]$$

朝永の超多時間理論

朝永の超多時間理論論文(1943年)
くりこみ理論の理論的基礎を与えた。

朝永 ノーベル賞受賞

中間子論・英文論文第1頁
湯川 ノーベル賞受賞

湯川 ノーベル賞受賞

湯川 ノーベル賞受賞

湯川 ノーベル賞受賞

表面写真解説
背景:素粒子反応の泡箱検出器による写真
中央:左 湯川秀樹(写真提供「新潮社」)
右 朝永振一郎(千葉志志氏撮影)
※1.三高時代の湯川・朝永
※2.原子模型
※3.電子散乱ファインマン図
※4.素粒子反応
[素粒子が解き明かす万物創成の謎]
高エネルギー物理学研究者会議(2005)
※5.スーパーカミオカンデ
(©東京大学宇宙線研究所 神岡宇宙素粒子研究施設)

●交通ガイド
JR「上野駅」公園口から徒歩5分
東京メトロ銀座線・日比谷線「上野駅」から徒歩10分
京成電鉄「京成上野駅」から徒歩10分
※駐車場はありません

●お問い合わせ: ハローダイヤル:03-5777-8600
●ホームページ: <http://www.kahaku.go.jp/>



第2回「計算科学による新たな知の発見・統合・創出」シンポジウム

計算科学の戦略と 次世代スーパーコンピュータ

平成18年4月4日(火)・5日(水) つくば国際会議場(エポカルつくば)

主催 筑波大学計算科学研究センター
協賛 (株)日立製作所 富士通(株) NEC(株)

[プログラム]

1日目: 4月4日(火)

10:00~10:15 開会・挨拶

宇川彰(筑波大学計算科学研究センター長)
岩崎洋一(筑波大学学長)
文部科学省来賓

10:15~12:45 セッション1

地球環境/気象分野

オーガナイザ: 木村富士男(筑波大学)
講演・パネルディスカッション

時岡達志(地球環境フロンティア研究センター)
室井ちあし(気象庁気象研究所) 佐藤正樹(東京大学)
鍵本崇(地球環境フロンティア研究センター) 田中博(筑波大学)
平木敬(東京大学)

14:00~18:00 セッション2

ナノ・バイオ分野

オーガナイザ: 押山淳(筑波大学)
講演・パネルディスカッション

赤井久純(大阪大学) 笠井秀明(大阪大学) 広瀬喜久治(大阪大学)
常行真司(東京大学) 今田正俊(東京大学) 高田俊和(NEC)
寺倉清之(北海道大学)
朴泰祐(筑波大学) 櫻井鉄也(筑波大学)

18:15~20:15 懇親会

2日目: 4月5日(水)

9:30~12:30 セッション3

基礎科学(素粒子・宇宙)分野

オーガナイザ: 梅村雅之(筑波大学)
講演・パネルディスカッション

青木慎也(筑波大学) 橋本省二(高エネルギー加速器研究機構)
初田哲男(東京大学) 牧野淳一郎(東京大学)
和田桂一(国立天文台) 須佐元(立教大学)
村上和彰(九州大学)

14:00~16:50 セッション4

バイオ/ゲノム/ライフサイエンス分野

オーガナイザ: 館野賢(筑波大学)
講演・パネルディスカッション

泰地真弘人(理化学研究所) 岡本祐幸(名古屋大学)
林重彦(京都大学) 五條掘孝(国立遺伝学研究所)
稲垣祐司(筑波大学) 館野賢(筑波大学)
松岡聡(東京工業大学)

シンポジウムホームページ
<http://www.ccs.tsukuba.ac.jp/workshop/sympo-060404/>
(その他ページにて参加登録をお願いします)

お問い合わせ
symposium2006@ccs.tsukuba.ac.jp

